

# 105-129

## 問題文

表1 年齢区分別人口割合（％）の将来推計

年齢区分	2015 年	2025 年	2035 年
0～14 歳	12.7	11.0	10.1
15～64 歳	60.6	58.7	56.6
65～74 歳	13.8	12.3	13.3
75 歳～	12.9	18.1	20.0
合計	100	100	100

高齢社会白書（内閣府 平成 28 年度版）より

表2 同一の保険薬局で調剤された1ヶ月あたりの薬剤種類数の割合（％）

年齢区分	薬剤種類数／月				合計
	1～2	3～4	5～6	7～	
0～14 歳	39.0	32.2	18.3	10.5	100
15～39 歳	45.4	32.6	14.6	7.4	100
40～64 歳	46.6	30.0	13.5	10.0	100
65～74 歳	43.5	28.6	14.4	13.6	100
75 歳～	34.1	24.8	16.3	24.8	100

社会医療診療行為別統計（平成 28 年）より

- 表1から、2035年における老年化指数は約200%になると予測される。
- 2015年から2035年までにおける老年人口割合の増加には、75歳以上人口割合の増加が大きく寄っている。
- 表2から、75歳以上の患者のうち、ほぼ4人に1人が7種類以上／月の薬剤を処方されていることがわかる。
- 7種類以上／月の割合が、65～74歳に比べて75歳以上で約2倍であることは、65～74歳に比べて75歳以上の患者の医療機関受診率が約2倍であることを示している。
- 人口割合の将来推計は、将来にわたって総人口が変化しないものとして計算されている。

## 解答

2, 3

## 解説

選択肢 1 ですが  
老年化指数とは、老年人口（65歳以上人口）を年少人口（14歳以下人口）で割って 100 を掛けたものです。  
（100-18） 約 300% です。200% ではありません。よって、選択肢 1 は誤りです。  
選択肢 2,3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが  
受診率が 2 倍であっても、同じ薬剤をもらっていたら薬剤種類数は変わりません。妥当ではない記述と考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが  
総人口が変化しつつ、それぞれの年齢区分の割合を推計した表と考えられます。総人口が変化しないものとして計算されている という記述は妥当ではありません。よって、選択肢 5 は誤りです。  
以上より、正解は 2,3 です。